

*福山市廃棄物減量等推進審議会議事録（抜粋）

2010年（平成22年）8月27日
10時00分～12時00分
福山市役所議会棟3階 第5委員会室

出席者

委員：高田委員，藤井（智）委員，三吉委員，佐藤委員，河原委員，沖藤委員，藤本委員，高橋委員，古川委員，博多委員，福井委員，鶴崎委員，藤井（輝）委員，秋山委員，五阿彌委員，開原委員

事務局：経済環境局長，環境部長，環境総務課長，環境保全課長，廃棄物対策課長，環境啓発課長，福山クリーンセンター所長，南部環境センター所長，環境総務課補佐，環境総務課庶務担当次長，廃棄物対策課長補佐兼第1担当次長

事務局提案等の承認について

提案事項等	承認事項
会長・副会長の選任について	福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例施行規則に基づき，会長及び副会長を選任しました。会長の選任については，委員からの提案により，事務局案として福井委員（前会長）を会長として提案し，承認されました。また，副会長の選任については，委員から福井会長の推薦による選任との意見があり，藤井委員（前副会長）を推薦し，承認されました。
審議会の議事録等の公開について	審議会での審議状況を積極的に公開し，開かれた市政の実現を目指すため，審議会の委員の発言の主旨を踏まえた議事録（抜粋）を福山市ホームページ等で公開します。また，審議会の傍聴についても，報道機関への情報提供に加え，福山市ホームページ等での審議会の開催の周知等により，市民が審議会に関わりやすい機会を設けることが承認されました。

議題（1）2009年度（平成21年度）ごみ排出量等について

発言者	質 疑	応 答
藤井副会長	2006年度以降，ごみの排出量は減少していますが，景気低迷のほかに政策的な効果，寄与率がどの程度影響していると認識されていますか。	2004年度から2008年度までに5%削減を目標とするごみ減量大作戦に取り組みました。取り組み内容は，家庭ごみの減量，事業系ごみの減量，エコショップ制度の増設などで，そのほか資源回収の拡充，生ごみ処理器設置補助，出前講座や

		<p>施設見学等，市民・事業者の方への啓発などの取り組みを実施しています。</p> <p>効果。寄与率について実績は把握していませんが，ごみ減量大作戦を基本に現在も取り組んでいます。</p>
	<p>リサイクル率が非常に高いことにはRDF工場がかなり寄与していると思いますが，RDF工場を除いたらどのくらいの数字になりますか。</p>	<p>RDF工場を除いた場合のリサイクル率は14%です。</p>
鶴崎委員	<p>家庭ごみは2006年度まで増えていますが，一日一人あたりのごみ量は減少しています。事業系ごみが関係していると思いますが，家庭での取り組みと企業の取り組みの違いなど，分析はされていますか。</p>	<p>家庭ごみ，事業系ごみに関わらず，まずは発生抑制を基本にしております。</p> <p>家庭ごみについては，ごみ分別ガイドブックを配布し適正な分別，処理を行い，資源物は資源に回すようお願いしています。事業系ごみについてはリーフレットを配布し周知を図っています。</p>
河原委員	<p>リサイクル率は2003年から翌年にかけて伸びていますが，RDFの影響ですか。</p>	<p>そのように分析しています。2008年度の広島県のリサイクル率が23.6%です。県内に7ヶ所，RDF化する施設がありますが，広島県全体を押し上げている要因と考えています。</p>

議題(2) 2010年度(平成22年度)「福山発」の重点政策について

発言者	質 疑	応 答
福井会長	<p>いろいろ重点政策で掲げられていますが，どの部分について特に重点的に啓発活動を行っていきたいと考えていますか。</p>	<p>エコスクールは学校等で，環境に関わらずマネジメントを導入してもらい，子どもたちにも取り組んでもらうものです。また，太陽光発電の導入促進事業についても今年度は事業者の方を対象に，大規模なものについて支援する制度を設けました。</p> <p>市民だけではなく，市民・事業者・行政の3つがスクラムを組んで取り組んでいくことが大事だと考えています。</p>
博多委員	<p>福山市の年間のCO2の排出量はどれくらいですか。</p>	<p>現在，福山市地球温暖化対策実行計画の区域施策編で，福山市域から排出される温室効果ガスについて削減する計画を策定しているところですので，市域全体のCO2の排出量は不明です。福山市が事務事業</p>

		者として排出する温室効果ガスについては、本年が5カ年計画の最終年度でひとつの区切りになりますが、当初計画の5%削減という目標は達成できる見込みです。
藤本委員	ふくやまエコスクールは家庭・地域・学校での取り組みということで、認定が2校とありますが、認定の対象はどういったところなのですか。	市内に所在する保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校です。
三吉委員	協働のまちづくりについてですが、環境ということで、市民の間に浸透していないと感じますが、対策や事業の取り組みについての説明があまりないと思うのですが。	まちづくり委員会と環境部が一緒になって取り組んでいる全市一斉の清掃活動を行っていますが、多くの市民の方に参加していただいています。単純に清掃活動をするだけではなく、分別しながら清掃活動することによって、環境問題を考えるきっかけになり、ごみへの意識も変わると考えています。 ほかに、町内会や学校などを対象にした、ごみを含めた環境問題についての出前講座を環境部全体で実施し、216件、延べ約11,000人の方が参加されました。
福井会長	自治体によって分別方法など異なりますが、自治体間で連携をとっていけば、政策の効果が上がってくると思うのですが、どのように考えられていますか。	福山市は燃やせるごみなど6種分別ですが、都市によっては、紙ごみやびん・缶など資源ごみをもっと細かく分別している自治体もありますし、逆に分別の種類が少ない自治体もあります。また、福山市では家庭ごみについて有料化していませんが、有料化している自治体もあります。 取り扱い、有料化、施設、分別等が異なるので、情報を集めて、どうしていくのがいいのか検討を行っていますが、連携をとって何か一緒にやっていくということは難しい状況です。
古川委員	エコスクールについて、どういった政策なのか教えてください。	環境マネジメントの仕組みを取り入れています。例えば、ごみの分別の徹底を継続的に実行してもらいます。そして、取り組んだ内容について年間を通じて報告してもらい、振り返って今後活かしていく制度です。さらに、ごみの分別に

	限定するのではなく，リサイクルや省エネなど幅広く取り組んでいく内容です。
--	--------------------------------------

議題（３）２０１０年度（平成２２年度）の主要施策の概要について

発言者	質 疑	応 答
藤井副会長	不法投棄の現状について報告してください。	<p>２００９年度実績で通報件数が２７７件，量で４９トンです。２００８年度実績で通報件数が２９８件，量で５２トンです。</p> <p>２００９年度は家電４品目に関しては，テレビ１４５件，冷蔵庫４４件，洗濯機３４件，エアコン１０件です。そのほかにもタンスなどがあります。</p>
三吉委員	不法投棄防止の監視カメラについて，今までに何基設置して，今後の必要件数はどのくらい見込まれていますか。	<p>今年度は２基申請しています。２００９年度までの実績は３０基設置しています。</p> <p>今後については，地域の方々と連携をとりながら設置場所等を検討していきたいと考えています。</p>
	エコでえ～ことキャンペーンについてなんですが，エコシールをこちらから言わないとくれない場合があります。せっかくキャンペーンを行っているのだから，徹底してもらいたい。	<p>協力してもらっている店舗の方々も業務で忙しくされている中，取り組んでもらっています。</p> <p>啓発不足もあり，改善していきたいと思っています。</p>
藤井副会長	容器包装プラスチックの再商品化モデル事業について，結果の分析及び報告はあるのでしょうか。内容を分析し，施策や次の行動へフィードバックさせることも大切だと思います。	<p>２０１１年２月に開催予定の廃棄物減量等推進審議会で２年間分まとめて報告したいと考えています。</p> <p>２００９年度取り組む中でアンケートを実施しました。その中で出ましたご意見を少し紹介します。モデル事業参加者の意見としては６種分別について多くの方が理解されていますが，容器包装プラスチックの分別について難しい，参加して分別について理解できた，リサイクルに関して関心があった，出前講座や施設見学等をした方が分別の向上が図れるのではないかとありました。また，参加できなかった方の意見としては，チラシ配布でも可能なのではないかと</p>

		<p>がありました。</p> <p>2010年度につきましては、2009年度同様、組成分析、出前講座、施設見学等を実施する中で、市民の方々と意見を交わし、生の声を聞きながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
佐藤委員	<p>ペットボトルのリサイクルについて、福山市が回収したものについては海外に行っているようなことはないですね。</p>	<p>ペットボトルを分別回収し、きれいなものは容器包装リサイクル協会でもらひ、今現在は日本合繊株式会社で処理しています。</p>
博多委員	<p>家電等を無料で回収している業者がいますが、違法ではないのですか。</p>	<p>廃掃法の関係もあって、大きな課題となっております。今現在では有価物という形で取り扱っています。</p>